



2014年3月期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2014年5月9日

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



## 2014年3月期 決算 サマリー

### 2014年3月期 実績

- 日本や北米を中心に、フォレスターやインプレッサの販売が好調を維持し、連結販売台数は2年連続で過去最高となる825千台を記録
- 為替レート差に加え、販売台数増加による売上構成差の改善や、原価低減の進捗により売上高、各利益ともに2年連続で過去最高を記録

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	2兆4,081億円 (+4,952億円)	3,265億円 (+2,061億円)	3,144億円 (+2,138億円)	2,066億円 (+870億円)	825.1千台 (+100.6千台)

### 2015年3月期 計画

- レガシィ、アウトバック、レヴォーグなど新型車投入効果を見込み、3年連続過去最高となる916千台の販売を計画
- 新型車投入に伴う諸経費の増加を、台数増加により打ち消し、売上高、各利益ともに3年連続での過去最高業績を計画

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	2兆7,200億円 (+3,119億円)	3,400億円 (+135億円)	3,300億円 (+156億円)	2,150億円 (+84億円)	916.0千台 (+90.9千台)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

1



## 2014年3月期 実績



## 通期実績 連結完成車販売台数

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
登録車	112.8	126.1	+13.4
軽自動車	50.4	55.5	+5.1
<b>国内合計</b>	<b>163.1</b>	<b>181.6</b>	<b>+18.5</b>
米国	357.6	441.8	+84.2
カナダ	32.6	36.0	+3.4
ロシア	14.7	15.3	+0.6
欧州	46.4	31.8	▲14.6
豪州	38.1	39.5	+1.4
中国	50.2	44.8	▲5.4
その他	21.7	34.3	+12.6
<b>海外合計</b>	<b>561.3</b>	<b>643.5</b>	<b>+82.2</b>
<b>合計</b>	<b>724.5</b>	<b>825.1</b>	<b>+100.6</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月

3

2014年3月期 通期の連結販売台数は、前年同期比10万6百台の増となる、82万5千1百台となり、2年連続で、過去最高を記録しました。

国内では、好調な販売が続くフォレスター、インプレッサが、モデル経年化の進むレガシィの台数減を補い、1万8千5百台の増となる、18万1千6百台となりました。

海外では、好調を持続する米国市場に加え、フォレスターが全ての市場で前年実績を上回ったことから、8万2千2百台の増となる、64万3千5百台となりました。



## 通期実績 連結業績

(億円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
売上高	19,130	24,081	+4,952
国内	6,718	6,721	+2
海外	12,411	17,361	+4,949
営業利益	1,204	3,265	+2,061
営業外損益	▲198	▲121	+78
経常利益	1,006	3,144	+2,138
特別損益	▲75	144	+220
税前利益	931	3,289	+2,358
当期純利益	1,196	2,066	+870
単独為替レート	¥82/US\$	¥100/US\$	+¥17/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

売上高、各利益ともに、2年連続での過去最高となりました。

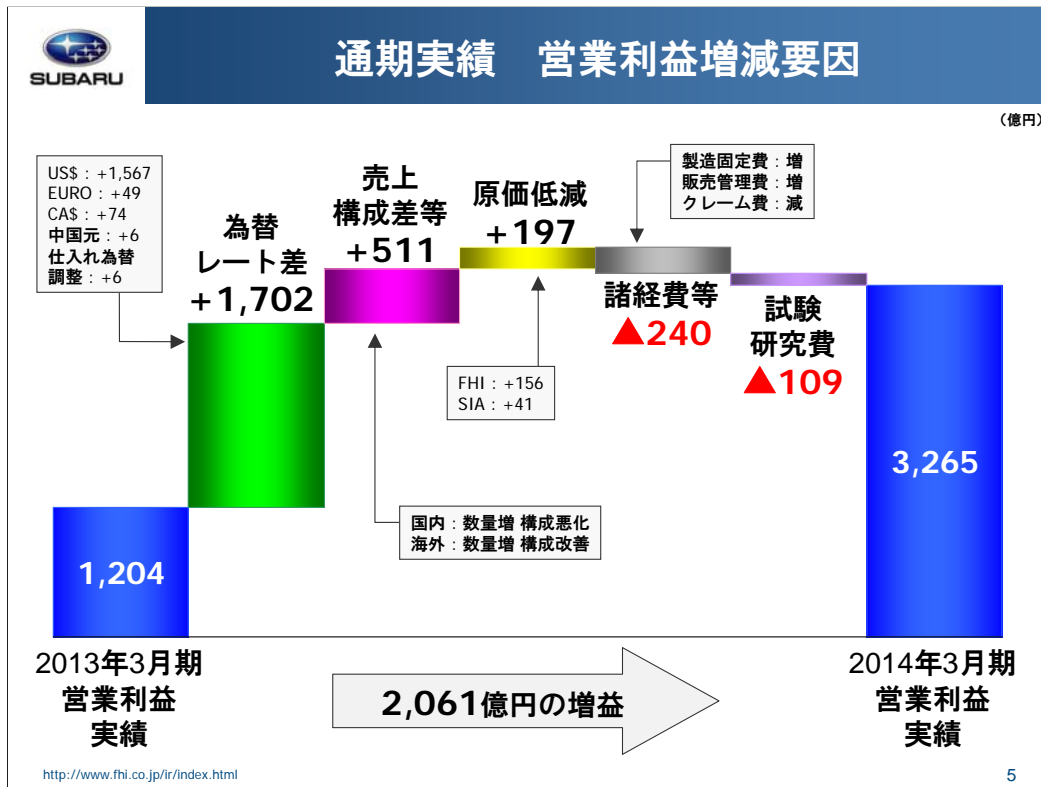
連結売上高は、為替レート差+2,720億円、国内外での販売台数増による売上構成差の改善+2,112億円、カンパニー等での売上増加+120億円により、前年同期比4,952億円の増となる、2兆4,081億円となりました。

営業利益につきましては、為替レート差や売上構成差の改善、原価低減の進捗が、諸経費、試験研究費の増加を上回り、2,061億円の増加となる、3,265億円となりました。

経常利益は、2,138億円の増で、3,144億円です。

税前利益につきましては、3月に訴訟判決に伴う、貸倒引当金繰入額296億円を計上したものの、投資有価証券の売却473億円があったことから、2,358億円の増となる、3,289億円となりました。

当期純利益は870億円増の、2,066億円となりました。



続きまして、前期実績1,204億円から今期実績3,265億円へと、2,061億円の増益となった、営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>為替レート差で+1,702億円です。ドルは約17円の円安で+1,567億円です。ユーロは約27円の円安で+49億円、カナダドルは約13円の円安で+74億円です。中国元で+6億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で+6億円となりました。

<2>売上構成差等で+511億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は+51億円です。構成は前年を下回りましたが、フォレスター、インプレッサの販売が拡大したことにより、国内全体では前年実績を上回りました。

②新車海外は+535億円です。すべての市場でフォレスターが前年を上回る好調な販売を記録したことに加え、インプレッサも米国などで販売を伸ばしたことから、数量・構成ともに改善しました。

③在庫調整等で-75億円です。

<3>原価低減で+197億円です。そのうち、富士重工が+156億円、SIAは+41億円です。富士重工では生産台数の増加等により、原価低減が+188億円、原材料・市況等については-32億円となりました。SIAでは原価低減が+30億円、原材料等は+11億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-240億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増加により-27億円です。そのうち、富士重工が-59億円、SIAは+32億円です。富士重工では、外製型費の増により-6億円、固定加工費も増加し-53億円です。SIAでは、外製型費の減により+29億円、固定加工費の減少により+3億円となりました。

②販売管理費の増加で-259億円です。富士重工では、販売台数増加に伴う運賃梱包費や広告宣伝費などの増加により-70億円となりました。国内ディーラーは-21億円、SOAは-172億円、カナダ子会社は-26億円、その他で+30億円となりました。

③クレーム費の減で+46億円です。

<5>試験研究費の増加で-109億円です。

以上で、2014年3月期の連結営業利益は、2,061億円の増益となる、3,265億円となりました。



## 連結貸借対照表

(億円)

	2013年3月末	2014年3月末	増減
総資産	15,775	18,883	+3,109
流動資産	9,440	12,738	+3,297
固定資産	6,334	6,146	▲188
有利子負債	3,072	2,697	▲375
純資産合計	5,968	7,701	+1,733
利益剰余金	3,014	4,839	+1,826
自己資本	5,954	7,655	+1,702
自己資本比率	37.7%	40.5%	+2.8
D/Eレシオ	0.52	0.35	▲0.16

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

総資産は、前年同期比**3,109**億円の増となる、**1兆8,883**億円となりました。  
販売規模拡大による当期純利益の増加や、為替レート差**+628**が寄与しました。

有利子負債は**375**億円の減少となる**2,697**億円、純資産は**1,733**億円の増となる**7,701**億円となりました。

自己資本比率は**40.5%**、D/Eレシオは**0.35**となっています。



## 通期実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
営業活動CF	1,667	3,130	+1,463
投資活動CF	▲714	▲339	+375
フリーCF	953	2,791	+1,838
財務活動CF	▲608	▲630	▲22
換算差額	150	127	▲23
手元資金増減	495	2,288	+1,793
連結範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	213	1	▲212
手元資金合計	3,289	5,579	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

営業活動によるキャッシュフローは、業績拡大による税前純利益の増加等により、**3,130億円**となりました。

投資活動によるキャッシュフローは、生産能力増強など投資活動を進める一方で、投資有価証券の売却があったことから、**-339億円**となりました。

フリーキャッシュフローは、**2,791億円**です。

財務活動によるキャッシュフローは借入金の返済や、配当の支払いなどにより**-630億円**となりました。

手元資金合計は**5,579億円**です。





## 通期実績 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
売上高	8,805	11,005	+2,200
営業利益	133	184	+51
当期純利益	97	111	+14
小売販売台数(千台)	347.1	442.3	+95.2

SIA	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
売上高	4,158	3,848	▲310
営業利益	71	265	+194
当期純利益	46	167	+121
スバル生産台数(千台)	181.2	163.5	▲17.7

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売は、新型フォレスターとXVが好調な販売を継続し、対前年9万5千2百台増の44万2千3百台となりました。

売上高についても、\$2,200Mの増収となる\$11,005Mとなりました。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$258M、販管費の増-\$207Mにより、\$51Mの増益となる、\$184Mとなりました。

SIAの売上高は、対前年-\$310Mの\$3,848Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差+\$107M、原価低減活動+\$49M、固定費減+\$38Mにより、対前年+\$194Mとなる\$265Mとなりました。

## 2015年3月期 見通し



## 通期計画 連結完成車販売台数

(千台)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
登録車	126.1	143.7	+17.6
軽自動車	55.5	51.2	▲4.3
<b>国内合計</b>	<b>181.6</b>	<b>194.9</b>	<b>+13.3</b>
米国	441.8	490.2	+48.4
カナダ	36.0	40.4	+4.4
ロシア	15.3	19.3	+4.0
欧州	31.8	40.3	+8.5
豪州	39.5	40.1	+0.6
中国	44.8	57.3	+12.5
その他	34.3	33.5	▲0.8
<b>海外合計</b>	<b>643.5</b>	<b>721.1</b>	<b>+77.6</b>
<b>合計</b>	<b>825.1</b>	<b>916.0</b>	<b>+90.9</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 10

グローバル販売台数は、レガシィ、アウトバック、WRXのフルモデルチェンジに加え、新型車レヴォーグを投入することから、前年同期比9万9百台増の、91万6千台を計画しており、3年連続での過去最高記録更新を目指します。

国内では、新型車レヴォーグにより、軽自動車の台数減少を打消し、1万3千3百台の増となる、19万4千9百台を見込みます。

海外市場では、新型レガシィやWRXのフルモデルチェンジ効果を見込んだ米国市場をけん引役に、7万7千6百台の増加となる、72万1千1百台を計画しています。



## 通期計画 連結業績

(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	24,081	27,200	+3,119
国内	6,721	7,032	+312
海外	17,361	20,168	+2,807
営業利益	3,265	3,400	+135
経常利益	3,144	3,300	+156
税前利益	3,289	3,240	▲49
当期純利益	2,066	2,150	+84
単独為替レート	¥100/US\$	¥100/US\$	+¥0/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

11

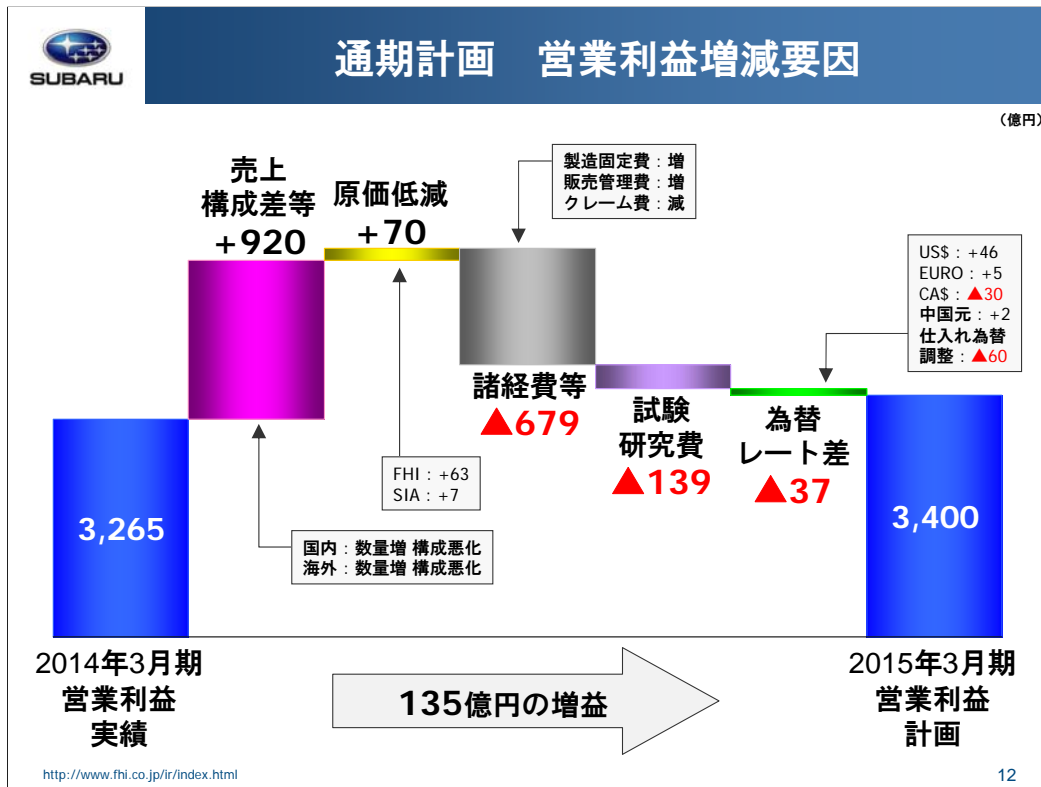
税前利益を除く、売上高、すべての利益段階で、過去最高更新を目指します。

売上高につきましては、販売台数拡大による売上構成差の改善3,003億円に加え、カンパニー等での売上増加99億円、為替レート差17億円により、前年同期比3,119億円の増収となる、2兆7,200億円を見込みます。

営業利益につきましては、売上構成差の改善と原価低減の進捗により、諸経費、試験研究費の増加、為替レート差を吸収し、135億円の増益となる、3,400億円を計画します。

経常利益は156億円の増となる3,300億円、税前利益につきましては、前期は投資有価証券の売却による特別利益を計上したこともあり、49億円の減益となる、3,240億円を見込みます。

当期純利益は84億円の増益、2,150億円を計画しています。



前期実績3,265億円から今期計画3,400億円へと135億円の増益となる営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>売上構成差等で+920億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は+237億円です。新型車レヴォーグ等の投入効果を見込みます。

②新車海外は+660億円です。好調な販売が続くフォレスターに加え、新型レガシィとWRXが販売拡大に寄与する見込みです。

③在庫調整等で+23億円です。

<2>原価低減で+70億円です。そのうち、富士重工が+63億円、SIAは+7億円です。

富士重工では生産台数の増加等により、原価低減が+145億円、原材料・市況等については-82億円を見込みます。SIAでは原価低減が+16億円、原材料等は-9億円です。

一方、減益要因は、

<3>諸経費等の増で-679億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増加により-109億円です。そのうち、富士重工が-63億円、SIAは-46億円です。富士重工では、外製型費の減により+15億円、固定加工費は増加し-78億円です。SIAでは、外製型費により-13億円、固定加工費により-33億円です。

②販売管理費の増加で-574億円です。富士重工では、販売台数増加に伴う輸送費など、その他費用の増加により-143億円を計画しています。国内ディーラーは-22億円、SOAは-190億円、カナダ子会社は-22億円、その他で-197億円です。

③クレーム費の減で+4億円です。

<4>試験研究費の増加で-139億円です。

<5>為替レート差で-37億円です。ドルは若干の円安で+46億円です。ユーロは約2円の円安で+5億円、カナダドルは約5円の円高で-30億円です。中国円で+2億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-60億円を計画しています。

以上で、2015年3月期の通期営業利益は、135億円の増益となる、3,400億円を計画しています。



## 通期計画 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	11,005	12,508	+1,503
営業利益	184	345	+161
当期純利益	111	202	+91
小売販売台数(千台)	442.3	470.0	+27.7

SIA	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	3,848	4,761	+913
営業利益	265	109	▲156
当期純利益	167	65	▲102
スバル生産台数(千台)	163.5	208.8	+45.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

13

SOAの通期小売販売は、新型レガシィ・アウトバックの導入と、フォレスターが引き続き好調なモメンタムを維持し、対前年2万7千7百台増の47万台を目指します。

売上高は対前年+\$1,503Mの\$12,508Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$352M、販管費の増-\$191Mにより、対前年+\$161Mの\$345Mを計画します。

SIAの売上高は、前年に対し、+\$913Mの\$4,761Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差-\$117M、原価低減活動+\$8M、固定費増-\$47Mにより、対前年-\$156Mとなる\$109Mを見込みます。



## 設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債

	2013年3月期 通期 実績	2014年3月期 通期実績 (a)	2015年3月期 通期 計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	702	685	1,200	+515
減価償却費	559	549	660	+111
試験研究費	491	601	740	+139
有利子負債	3,072	2,697	2,400	▲297

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

2015年3月期の設備投資につきましては、国内の本工場、大泉工場、米国生産子会社SIAでも能力増強を行うことから、前期に比べ515億円の増となる、1,200億円を計画しています。

減価償却費は、111億円の増で660億円、試験研究費は将来商品に向けた取り組みをより一層強化すべく、139億円の増となる740億円を計画しています。

有利子負債につきましては、2,400億円を計画しています。

## ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数
- ・ 第4四半期(3ヶ月)業績
- ・ 通期実績 計画との差
- ・ 通期計画 第2四半期累計計画





## 通期実績 連結営業外収支 / 特別損益

(億円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
金融収支	▲7	1	+8
為替影響	▲172	▲95	+77
その他	▲19	▲27	▲8
<b>営業外収支</b>	<b>▲198</b>	<b>▲121</b>	<b>+78</b>
投資有価証券売却益	6	473	+468
貸倒引当金繰入額	-	▲296	▲296
その他	▲81	▲33	+48
<b>特別損益合計</b>	<b>▲75</b>	<b>144</b>	<b>+220</b>



## 通期実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 実績	増減	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 実績	増減
自動車	17,790	22,466	+4,677	1,110	3,090	+1,980
航空宇宙	891	1,244	+353	68	141	+73
産業機器	301	298	▲4	6	6	▲0
その他	147	73	▲74	16	21	+5
消去・全社				4	6	+3
合計	19,130	24,081	+4,952	1,204	3,265	+2,061

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17



## 通期実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 実績	増減	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 実績	増減
日本	9,131	9,674	+543	1,114	2,823	+1,709
北米	8,372	12,371	+3,999	226	528	+302
その他	1,627	2,036	+409	2	51	+49
消去・全社				▲137	▲137	▲0
合計	19,130	24,081	+4,952	1,204	3,265	+2,061

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18



## 通期実績 連結海外売上高

(億円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
北米	8,960	13,228	+4,268
欧州	1,272	1,347	+75
アジア	1,132	1,544	+412
その他	1,047	1,242	+195
合計	12,411	17,361	+4,949



## 通期実績 単独販売台数

(千台)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
国内生産	583.1	649.9	+66.8
国内売上	166.7	185.8	+19.1
登録車	116.3	128.1	+11.7
軽自動車	50.4	57.8	+7.4
輸出台数	384.0	499.2	+115.2
海外生産用部品	185.7	165.6	▲20.2
単独売上合計	736.4	850.6	+114.1

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20



## 第4四半期(3ヶ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2013年3月期 4Q 実績	2014年3月期 4Q 実績	増減
登録車	35.9	39.3	+3.4
軽自動車	15.7	18.5	+2.7
<b>国内合計</b>	<b>51.6</b>	<b>57.7</b>	<b>+6.2</b>
米国	98.2	115.4	+17.2
カナダ	9.0	8.8	▲0.2
ロシア	1.5	5.8	+4.4
欧州	11.5	8.3	▲3.2
豪州	9.9	9.9	+0.0
中国	9.9	15.2	+5.4
その他	6.4	10.5	+4.1
<b>海外合計</b>	<b>146.3</b>	<b>174.0</b>	<b>+27.7</b>
<b>合計</b>	<b>197.8</b>	<b>231.7</b>	<b>+33.9</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算10～12月 21



## 第4四半期(3ヶ月)実績 連結業績

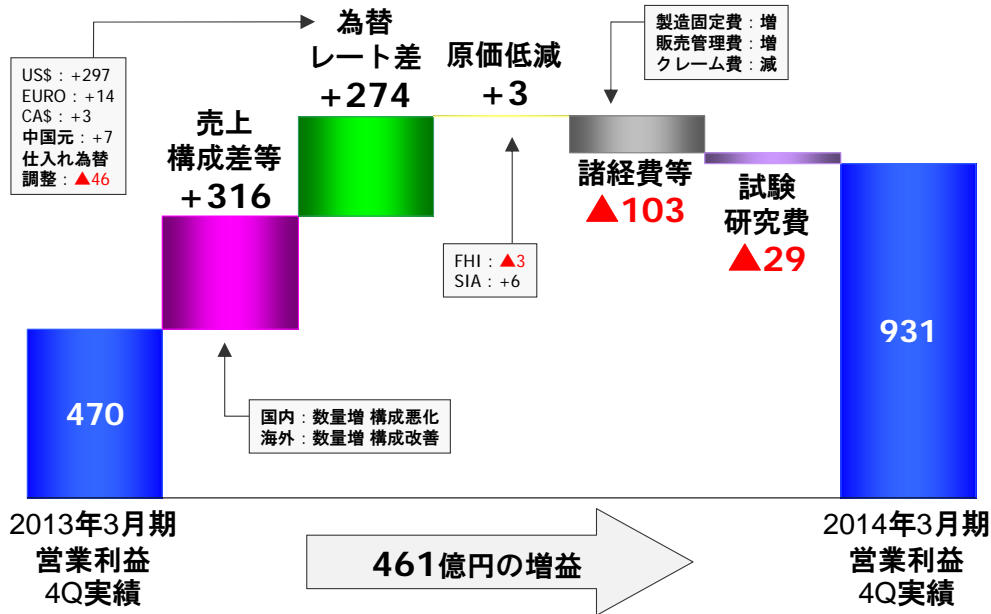
(億円)

	2013年3月期 4Q 実績	2014年3月期 4Q 実績	増減
売上高	5,422	6,996	+1,574
国内	1,895	1,933	+38
海外	3,527	5,063	+1,536
営業利益	470	931	+461
経常利益	372	930	+558
税前利益	313	618	+304
当期純利益	665	251	▲414
単独為替レート	¥89/US\$	¥103/US\$	+¥13/US\$



# 第4四半期(3ヶ月) 営業利益増減要因

(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23





## 通期実績 連結完成車販売台数 計画 VS. 実績

(千台)

	2014年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減
登録車	135.0	126.1	▲8.9
軽自動車	53.8	55.5	+1.7
<b>国内合計</b>	<b>188.8</b>	<b>181.6</b>	<b>▲7.2</b>
米国	439.8	441.8	+2.0
カナダ	36.0	36.0	+0.0
ロシア	15.4	15.3	▲0.1
欧州	31.9	31.8	▲0.1
豪州	39.1	39.5	+0.4
中国	44.8	44.8	±0
その他	33.4	34.3	+0.8
<b>海外合計</b>	<b>640.5</b>	<b>643.5</b>	<b>+3.0</b>
<b>合計</b>	<b>829.3</b>	<b>825.1</b>	<b>▲4.2</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 24



## 通期実績 連結業績 計画 vs. 実績

(億円)

	2014年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減
売上高	23,800	24,081	+281
国内	6,495	6,721	+226
海外	17,305	17,361	+56
営業利益	3,100	3,265	+165
経常利益	2,940	3,144	+204
税前利益	3,034	3,289	+254
当期純利益	1,920	2,066	+146
単独為替レート	¥99/US\$	¥100/US\$	+¥1/US\$

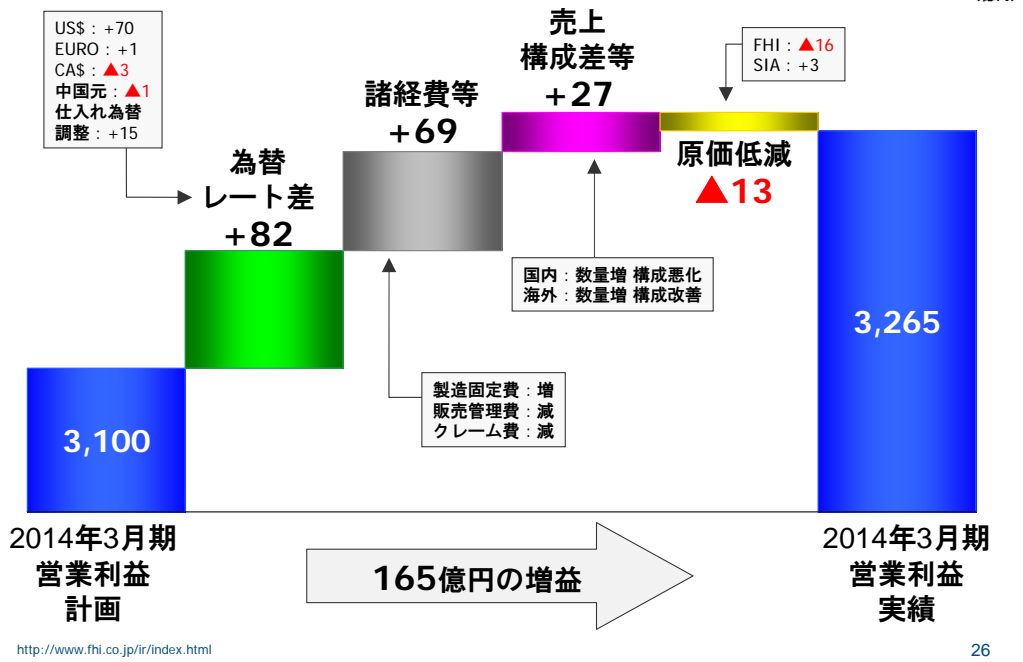
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

25



# 通期実績 営業利益増減要因 計画 vs. 実績

(億円)





## 第2四半期累計計画 連結完成車販売台数

(千台)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 計画	増減
登録車	61.7	70.5	+8.8
軽自動車	25.6	22.6	▲3.0
<b>国内合計</b>	<b>87.3</b>	<b>93.2</b>	<b>+5.8</b>
米国	208.9	233.9	+25.0
カナダ	18.7	21.7	+3.0
ロシア	6.8	9.2	+2.4
欧州	15.3	18.4	+3.1
豪州	21.3	19.0	▲2.2
中国	18.9	27.6	+8.6
その他	15.4	15.8	+0.4
<b>海外合計</b>	<b>305.3</b>	<b>345.6</b>	<b>+40.3</b>
<b>合計</b>	<b>392.6</b>	<b>438.8</b>	<b>+46.1</b>

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～6月 27



## 第2四半期累計計画 連結業績

(億円)

	2014年3月期 2Q累計 実績	2015年3月期 2Q累計 計画	増減
売上高	11,256	13,000	+1,744
国内	3,306	3,426	+120
海外	7,951	9,574	+1,623
営業利益	1,507	1,600	+93
経常利益	1,462	1,560	+98
税前利益	1,453	1,540	+87
当期純利益	998	1,010	+12
単独為替レート	¥98/US\$	¥100/US\$	+¥2/US\$

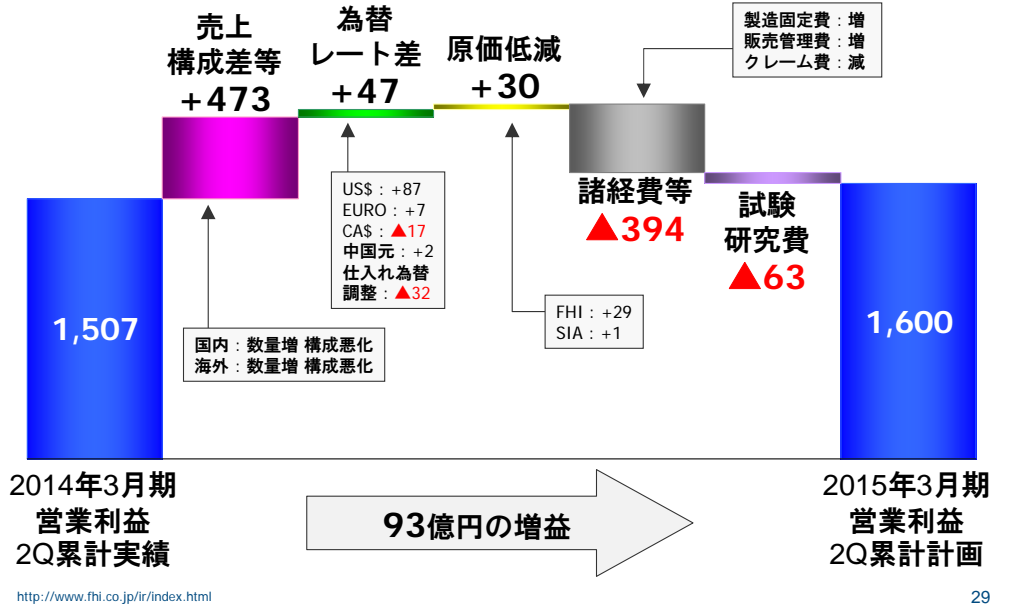
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

28



## 第2四半期累計計画 営業利益増減要因

(億円)



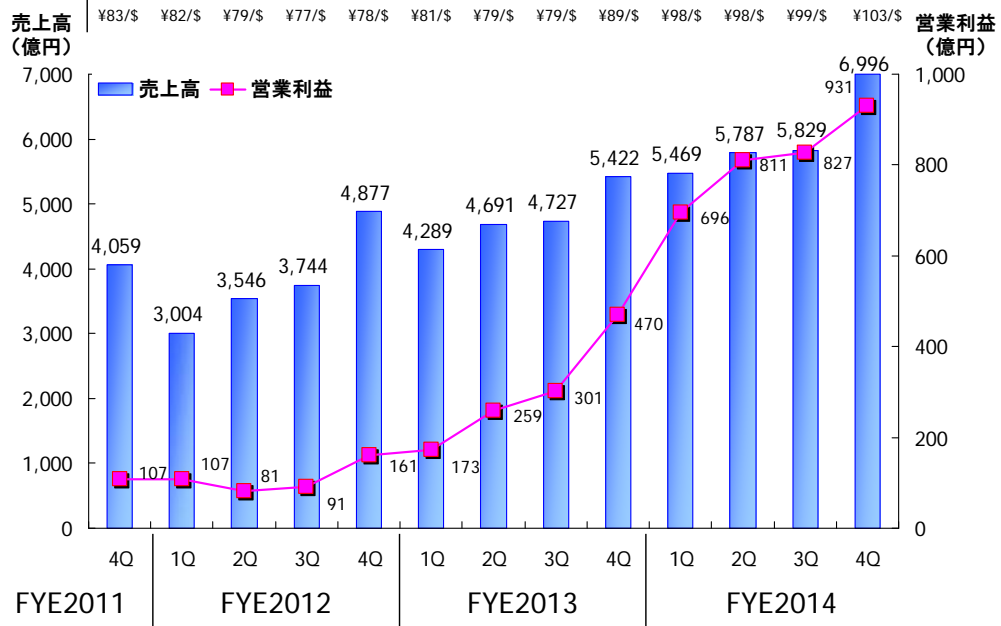
29

## ご参考 (2)

- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件



## 売上高 / 営業利益 推移

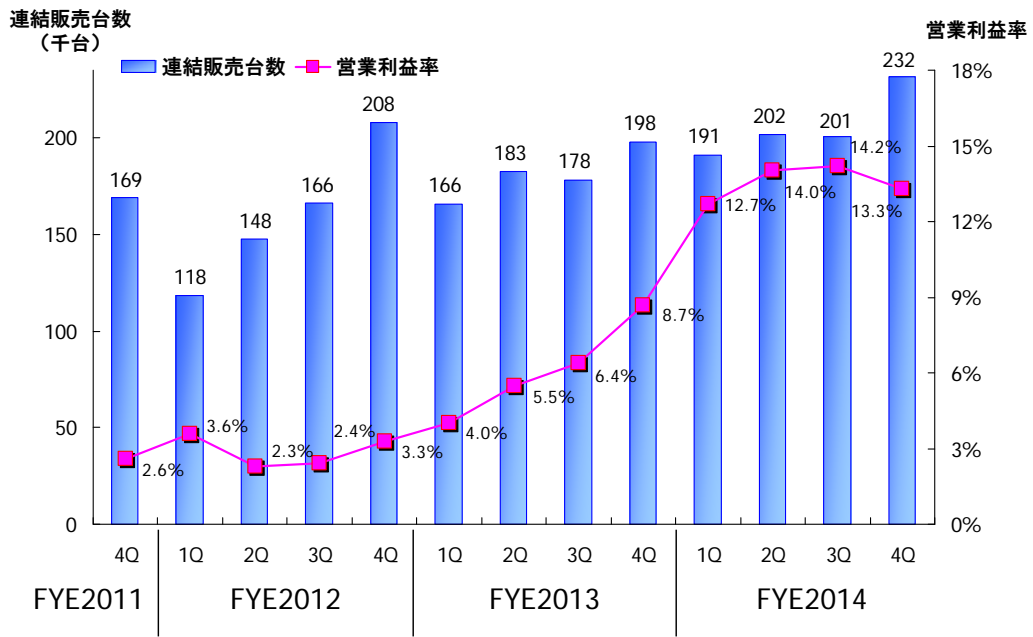


<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>





## 連結販売台数 / 営業利益率 推移



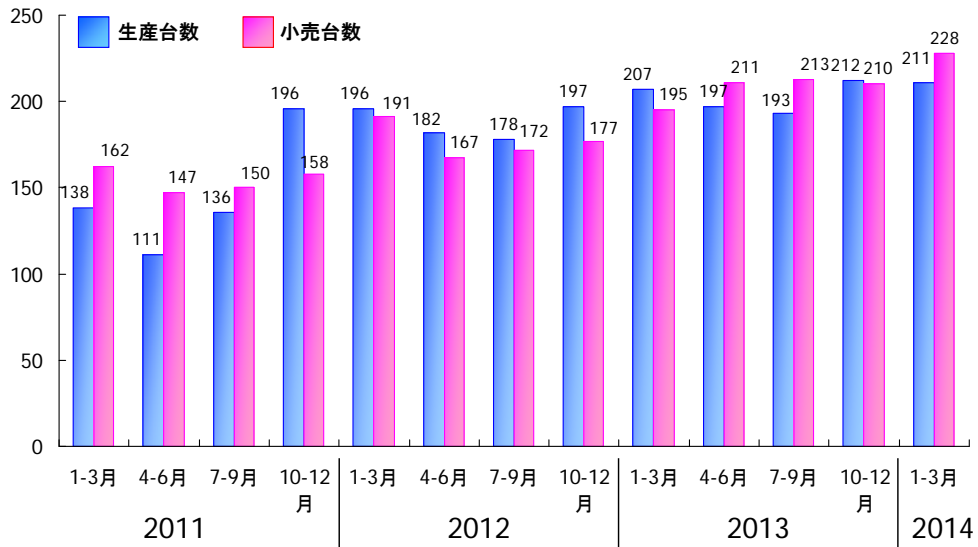
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

32



## 生産台数 / 小売台数 推移

(千台)



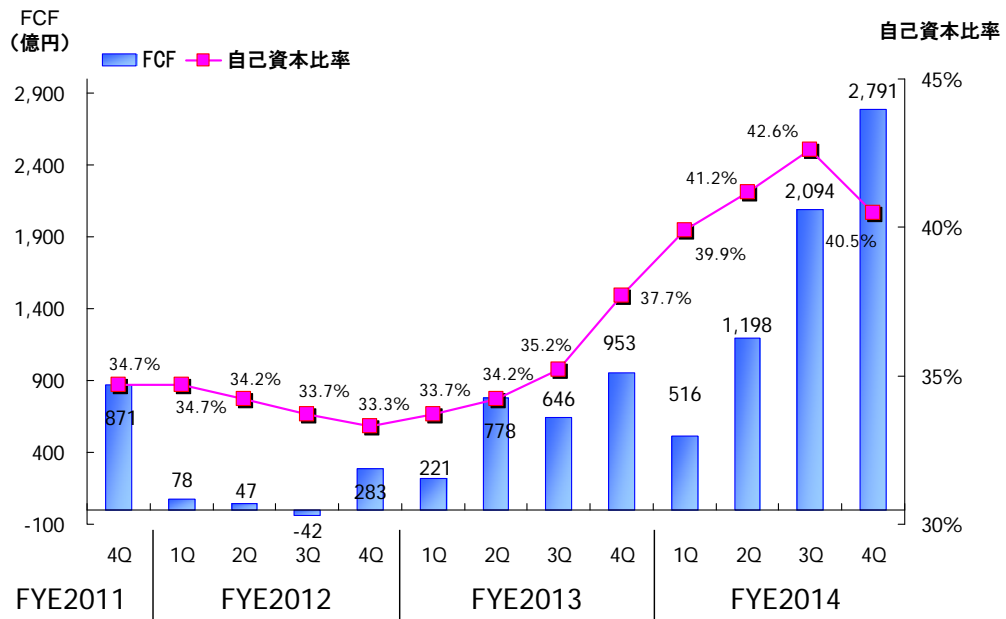
※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

33



## FCF / 自己資本比率 推移

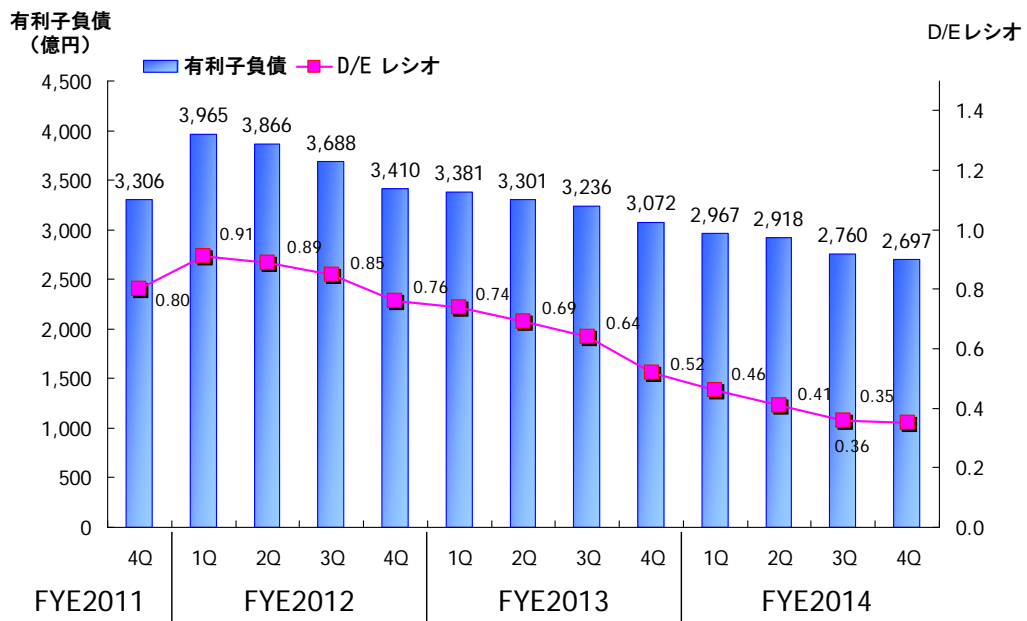


<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

34



## 有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

35



## 第4四半期 主な広報発表案件

(発表日)

### 生産・販売関係

- スバルの米国、カナダ、豪州の2013年暦年販売が過去最高を達成(1/7)
- スバル車 国内生産台数2,000万台を達成(1/9)
- 2014年暦年 生産・販売計画について(1/15)

### 商品関係

- 新型「WRX STI」を2014年北米国際自動車ショーにて世界初公開(1/15)
- 新型「レガシィ」を2014年シカゴオートショーにて世界初公開(2/7)
- 2014年ジュネーブ国際モーターショーで「SUBARU VIZIV 2 CONCEPT」を世界初公開(3/4)

### その他

- 2014年 SUBARU モータースポーツ活動計画について(1/10)
- 訴訟の判決に関するお知らせ(2/28)
- 役員の異動および担当業務の変更について(3/3)
- 控訴の提起に関するお知らせ(3/13)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

36



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみに全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>